

デザインの現場

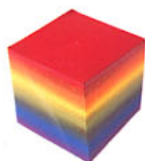
DESIGNERS' WORKSHOP

vol.18 no.117

2001

8

Aug.



57種のオリジナルグッズのつくり方

予算・最小個数・製造元業者データつき



特集……

グッズ デザイン

GOODS DESIGN

特製サテン生地シールつき。好きな色のシールをここに貼ってね!



特別記事 編集部推薦! 仕事に使えるプリンターガイド
ADC2001受賞作品レポート





「Stereotype」は
白とオレンジの2種類。
13cm角の立方体サイズ。
価格5200円。
商品取り扱い=FORTY WINKS
(TEL. 03-5728-6535)ほか



サローネに出品した酒井さんのブース。広さは約4×4mで、1ブースの料金は大体20万円くらい。プレス対応も一括してやってもらえるので、すべての費用をあわせても3人で出展して1人50万円くらいの負担で済んだ。「作品の輸送料は高いので自分で飛行機に持ち込み(笑)。大変だったけど、現地でほとんど売れたので帰りは楽でした」と酒井さん

目標はマイ・デザインの 世界展開!

プロダクトデザイナー 酒井俊彦

今年もさまざまな雑誌でミラノ家具見本市、通称「サローネ」の記事が出ていたが、その主なものは作品介绍に終わり、作品がどのようにしてつくられ、サローネがあったことでどのような展開を迎えたのかはなかなか見えてこない。そこで、今回のサローネで展示を行った酒井俊彦さんにその前後の状況をうかがった。

酒井さんはフリーで活動するプロダクトデザイナー。家電など工業デザインをメーカーに提供する傍ら、自らデザインした家具、雑貨の商品化、販売も行っているアクティブな人である。3年前にはサローネ期間中にミラノ市内のギャラリーで展示を行ったが、今年はサローネサテライト(以下、サテライト)に出展した。サテライトは見本市会場内にある別棟の展示会場で、今年は約150組の若手デザイナーがそこで展示を行い、国内外のバイヤーやジャーナリストらがポスト・マーク・ニュートンを探しにやってくる。

酒井さんが出品したのは、ランプ、コートハンガー、座椅子など。中でもオカモトの新素材Cyber(本誌2000年4月号で掲載)を使ったランプは好評だった。ジッパーがついたボーチも見えるユーモラスな表情のある作品だ。この商品はもともと、昨年の秋に東京で行われた「Dream Design Project」展のためにつくられたもの。初回100個分のカバー部分は取引のある中国の家電メーカーで制作してもらい、金具やコードなどは東急ハンズで購入し、酒井さん自らが組み立てた。値段は日本で5200円、サテライトでは68ドルと妥当な価格設定になっている。

サテライトでの反応は非常によく、多くのバイヤーの興味をひいた。現在ドイツ、イタリア、イギリスのマーケットに向けて交渉中、とサローネ直後の反応もまずまずだ。「海外マーケット向け」という点で、「電化製品では規格をちゃんととっておくことが重要」と酒井さんはアドバイスする。この規格とは電化製品だけでなく、あらゆる工業製品の安全を保证する国際安全

取材・文/波部千春
TEXT by CHI HARU WATABE

規格のこと。ヨーロッパではCEマークがそれに当たる。もちろん、ランプの素材は照明器具としても使える安全性が確認されているが、商品としての規格をとらずに販売した場合、誤った使用方法によって事故が起きると、製作者である酒井さんの責任になってしまう。規格をとるには各国にある試験の委託事務局に製品テストを依頼し、2〜3週間後の結果を待つ。ちなみに金型を使う大量品の場合は、最終段階で失格になって型代が無駄にならないように、プロトタイプ段階から相談できるといふ。

こうしたリサーチや手続き、ディストリビューターとの交渉、メーカーとのやりとりなど一人でやっていくのも根気のいる仕事のはずだが、酒井さんは意外に淡々とこなしている。

「交渉なんかはインターネットでやっているから便利。なかったらかなり大変だよね。普段はコンセプトモデルに終わったり、メーカー側の意向でデザインが勝手に変わっちゃったりする状況の中でやっているでしょう。このランプは自分のアイデアそのまま出来るから、やっている喜びがあるよね。工業デザイナーだから、商品として成り立つものをつくらなくと」。

サローネをはじめとするイベントの数々は継続するデザイン活動の断面でしかない。プロトタイプのみで終わらせないために必要な細かい作業を着実にこなしていく酒井さんに学ぶところは多いのではないだろうか。

さかいとしこ

1964年高知生。東京造形大学卒業後、コーゾーデザインなどを経て、92年サカイデザイン・アソシエーツを設立。中国大東電気のマッサージチェアデザイン、韓国Pacific Corporation S-project(コスメティック)シリーズデザイン、アッサンブラージュオリジナル家具シリーズデザインなど、工業デザインから家具、インテリア、CGデザインまで幅広く手がける。

連絡先=サカイデザイン・アソシエーツ

渋谷区千駄ヶ谷5-11-13 俳優ビル1F

〒151-0051 TEL. 03-5363-1039

www.sakaidesign.com

撮影/森田ケン

(左上商品写真とポートレート)

